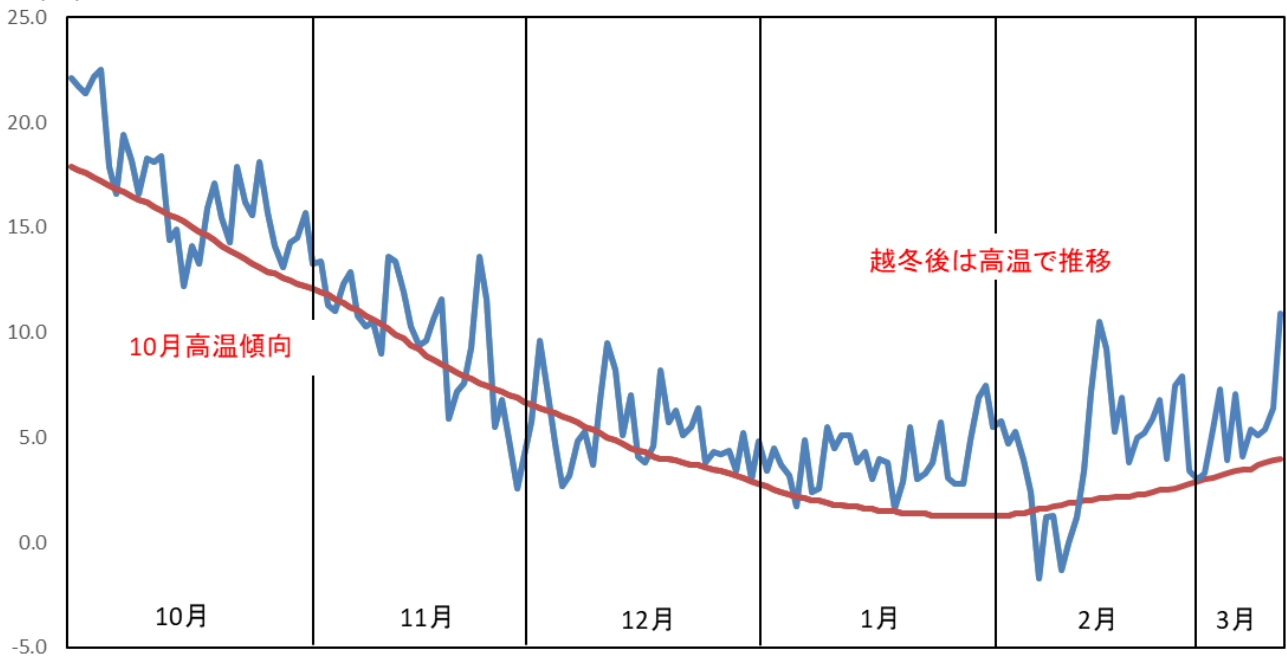


仙台麦作情報

大麦の幼穂長が1mm以上になり、幼穂形成期に入りました。
収量・品質の確保のため、減数分裂期の適期追肥の準備をしましょう。

1 気象経過（気温）

気温(°C)



○2月～3月上旬の気象

越冬後の気温は平年よりも高く推移しました。

〈2月〉平均気温4.3°C（平年差+2.2°C）

降水量 19.5mm（平年比51%）

〈3月上旬〉平均気温6.1°C（平年差+2.6°C）

降水量 35.5mm（平年比179%）

○一ヶ月予報（3月14日～）

気温：平年より高い確率が80%です。

⇒今後も気温が高く推移することが見込まれるため、生育の進展が早くなり、作業が前倒しになることが予想されます。

降水量：ほぼ平年並となる見込みです。

2 大麦生育調査結果（3月10日現在）

調査したいずれのほ場においても幼穂形成期に達しております。

- ・仙台市の「ホワイトファイバー」, 「シュンライ」では, 初期生育量は少ない傾向でしたが, 気温が高く推移したため, 生育は概ね順調です。（下写真参照）
- ・大和町の「ホワイトファイバー」では, 草丈 9.6cm, 莖数 325 本/m², 幼穂長は 1.1mm で仙台湾沿岸部に比べ, 生育はやや遅れています。



品種：ホワイトファイバー
 地帯区分：仙台湾沿岸（仙台市）
 播種日：11/10
 草丈：10.9cm
 莖数：496 本/m²
 幼穂長：2.1mm



品種：シュンライ
 地帯区分：仙台湾沿岸（仙台市）
 播種日：11/12
 草丈：10.4cm
 莖数：588 本/m²
 幼穂長：2.3mm

3 減数分裂期追肥の実施

幼穂長を確認し, 適期に追肥を実施しましょう。追肥量は下の表を参考に施用しましょう。

- ・減数分裂期の追肥は, 穎花の退化を防ぎ, 一穂粒数を増加させる目的で実施します。
- ・時期が遅れると追肥の効果が十分に得られず, 大麦では硬質麦による品質低下の原因となりますので, 適期に実施しましょう。

麦種	実施時期の目安	施用量
大麦	幼穂長3cm (※4月上旬～中旬)	窒素2～2.5kg/10a (硫安9.5kg～12kg)
小麦	幼穂長2～5cm (※4月下旬)	

※向こう一ヶ月は平年より気温が高い予報のため, 実施適期が早まる場合があります。

次号は4月中旬頃発行します。赤カビ防除や刈取り時期等について掲載予定です。